



IIXIL 門扉用電気錠 FamiLock 電池式 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。


ポイント

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。

＜施工上のご注意＞


注意

- ボルト、ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 〈推奨トルク〉アルミ $\phi 4$ ねじ：1.5N・m $\pm$ 0.5N・m (15 $\pm$ 5kgf・cm)
 樹脂 $\phi 4$ ねじ：1.0N・m $\pm$ 0.5N・m (10 $\pm$ 5kgf・cm)
- 器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガのおそれがあります。
- ガス機器やその排気筒などの温度が高くなるものの近くには取付けしないでください。火災のおそれがあります。

<施工上のご注意> (つづき)

ポイント

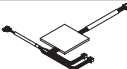
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。ガタツキがある場合、落下によるケガのおそれがあります。
- 施工終了後は、ねじにゆるみがないか確認してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 電池はエネルーブを使用してください。
- エネルーブの充電器は別途ご購入ください。
- ※エネルーブはパナソニックの登録商標です。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

目次

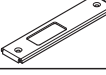
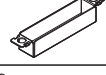
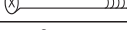
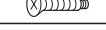
		ページ
はじめに	■梱包明細表	3
	1. 基本寸法図と各部名称	4
	2. システムイメージ	5
	2-1 門扉FamiLock 電池式 のシステム図	5
組付け手順	3. 電気錠ユニットの扉への組付け	6
	3-1 制御ユニットの組付け	6
	3-2 屋外リーダーの組付け	6
	3-3 電動サムターンの組付け	7
	3-4 屋外／屋内リーダー化粧プレートの組付け	8
	3-5 鎌錠ストライクセットの取付け	8
	4. マグネットの取付け	9
登録・設定	5. 電池の挿入	9
	6. 電気錠の登録および設定	10
	6-1 カードキーの登録方法	10
	6-2 リモコンキーの登録方法	11
	6-3 施解錠の確認	12
施解錠方法	6-4 自動施錠ON/OFFの切替方法	12
	7. 施解錠方法	13
こんなときは	7-1 シリンダーや手動でのサムターンの施解錠方法	13
	8. 門扉のブザー音と表示について	14
	9. リモコンキーのランプ表示について	15
	10. 施工チェックシート	15
	11. 商品仕様	16

■梱包明細表

【1】部品セット

名 称	略 図	員 数
制御ユニット		1
框内配線		1
屋外リーダー		1
屋外リーダー化粧プレート		1
屋外リーダー取付部品		1
電動サムターン(右/左勝手用)		1
サムターン取付金具		1
電動サムターンパッキン		1
電動サムターンカバー		1
電動サムターンツマミ		1
マグネット		1
カードキー(3枚セット)		1
リモコンキー		1
電池(エネルギー4本セット)		2
【1-1】φ4×10トラスタッピンねじ3種		2
【1-2】φ4×12ナベタッピンねじ2種		2
取付説明書<EXM-179>	—	1
取扱説明書<EXM-178>	—	1

【2】シリンダーセット(※2)

名 称	略 図	員 数
鎌錠ケース		1
シリンダー(※3)		1
キー(※4)		3
鎌錠ストライク		1
鎌錠トロヨケ		1
【2-1】φ5×50サラ小ねじ(※3)		2
【2-2】φ4×12サラタッピンねじ3種		4

※2 プッシュプルST錠を使用する場合は、錠セットに同梱されています。

※3 仮組みした状態になっています。

※4 施工終了後、必ず施主様にお渡しください。

※図は、H12内開き仕様を示します。

1. 基本寸法図と各部名称

〈 〉内寸法はH14、[]内寸法はH16の場合を示します。

1-1 基本寸法

(1) 片開き

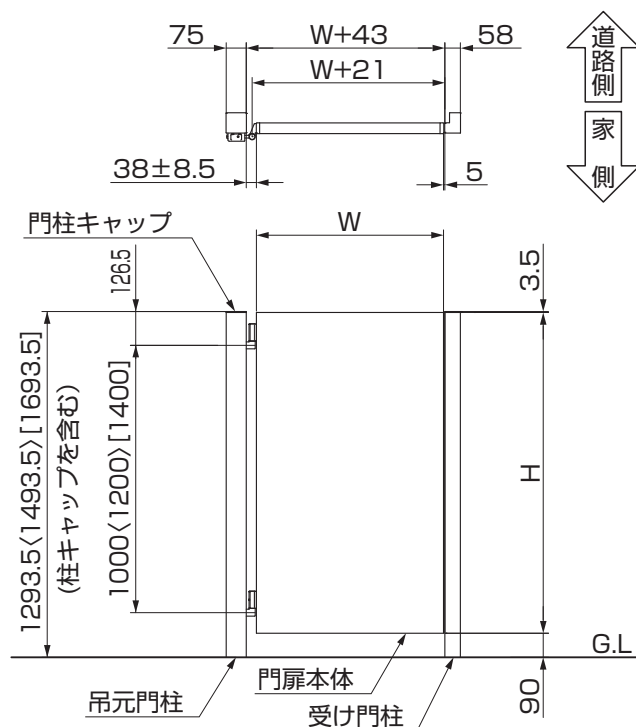


表1-1

呼 称	W	H
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400
09-14	900	1400
08-16	800	1600
09-16	900	1600

(2) 親子仕様・両開き

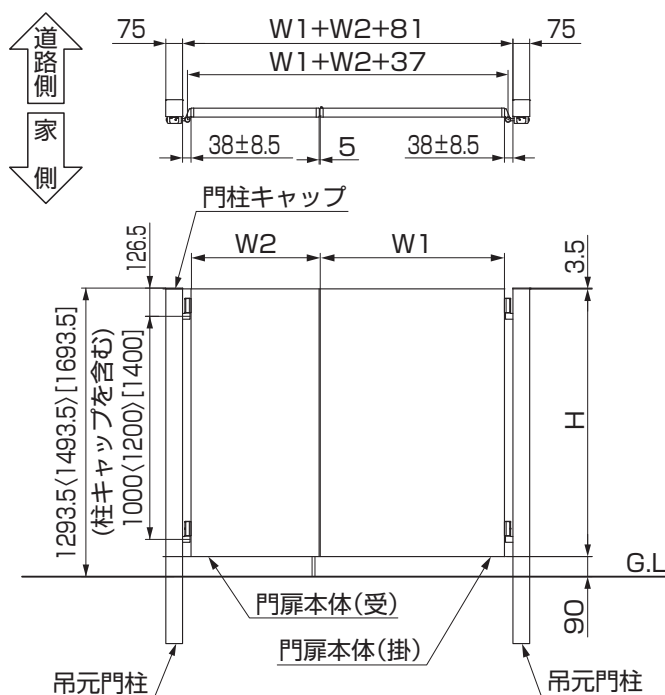


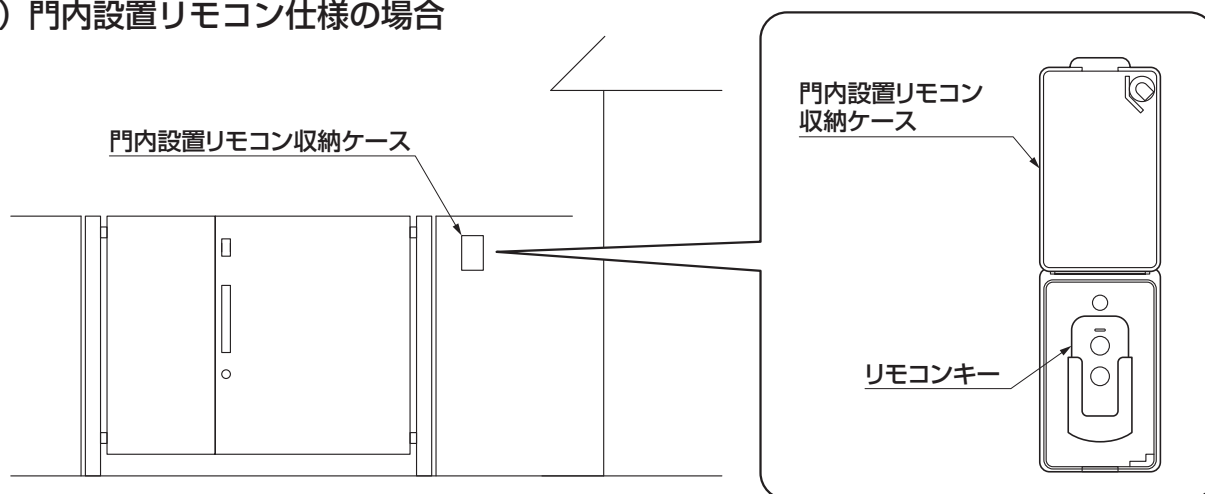
表1-2

呼 称	W1 掛扉・受扉	W2 子扉	H
04-12	—	400	1200
05-12	—	500	1200
07-12	700	—	1200
08-12	800	—	1200
09-12	900	—	1200
04-14	—	400	1400
05-14	—	500	1400
07-14	700	—	1400
08-14	800	—	1400
09-14	900	—	1400
05-16	—	500	1600
08-16	800	—	1600
09-16	900	—	1600

2. システムイメージ

2-1 門扉FamiLock 電池式 のシステム図

(1) 門内設置リモコン仕様の場合



※門内設置リモコン収納ケースの取付は、収納ケース製品内に同梱の取付説明書(EXM-181)をご確認ください。

はじめに	
組 付 け 手 順	制御 ユニット
	屋外 リーダー
	電動 サムターン
	化粧 プレート
	錠錠 ストライク セット
	マグネット
登 録 ・ 設 定	電池 挿入
	カードキー 登録
	リモコンキー 登録
	施解錠の 確認
施 解 錠 方 法	自動施錠 切替
	シリンダー・ サムターン
こんなときは	

3. 電気錠ユニットの扉への組付け

ポイント

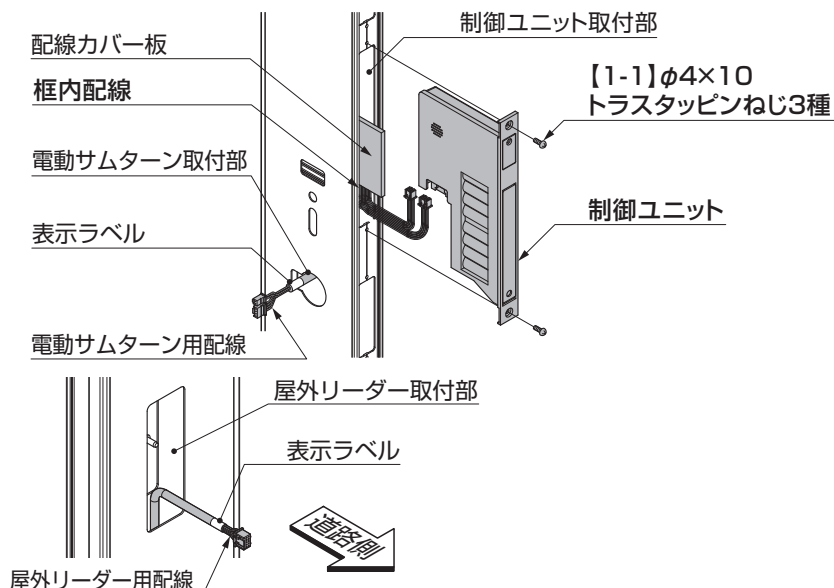
●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる可能性があります。

ねじの締付けトルク(推奨) : $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ { $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }

●コネクタは「カチッ」と鳴るまで挿してください。

●取付部品で配線を挟まないように注意してください。挟みますと断線や機器の故障の原因となります。

3-1 制御ユニットの組付け

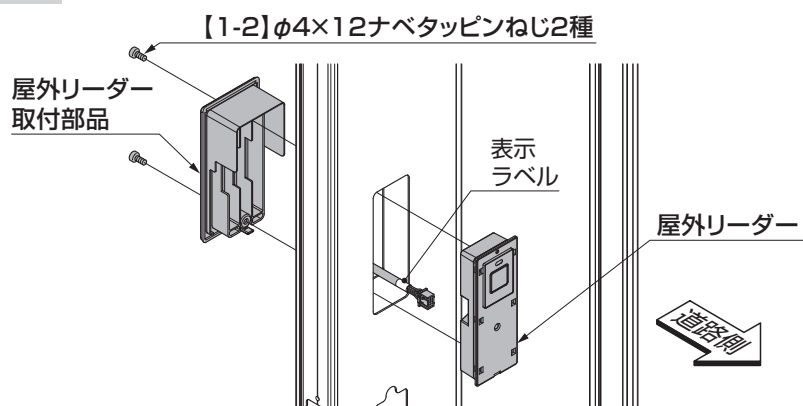


- ①制御ユニットに枠内配線を差込みます。
- ②制御ユニットの取付部より配線を引き込み、屋外リーダー取付部、電動サムターン取付部より配線の表示ラベルにしたがい配線を引き出します。
- ③制御ユニットを扉に差込み【1-1】で取付けます。

ポイント

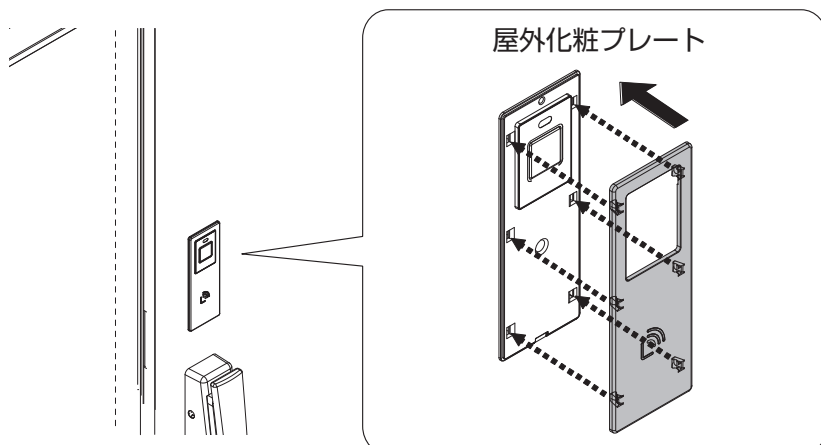
●配線カバー板を先にいれて、その後制御ユニットを差込んでください。

3-2 屋外リーダーの組付け



- ①屋外リーダーに配線を差込みます。
- ②屋外リーダー取付部品に屋外リーダーを【1-2】で取付けます。

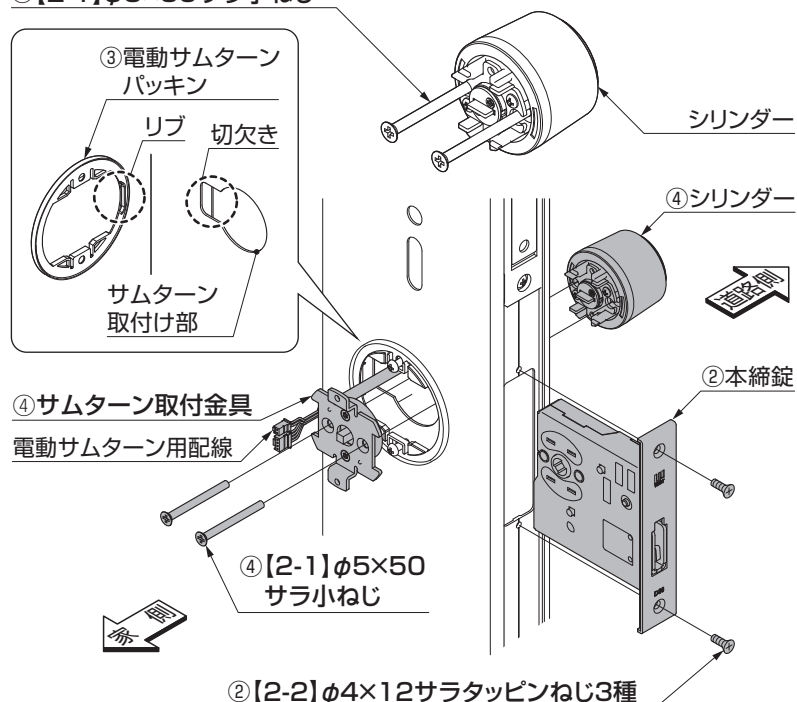
3-3 屋外リーダー化粧プレートの取付け



- ①屋外リーダーに屋外リーダー化粧プレートをツメ位置を合わせてはめます。

3-4 電動サムターンの組付け

①【2-1】φ5×50サラ小ねじ



①【2-1】をシリンダーから取外してください。

②本締錠を【2-2】で取付けます。

ポイント

●シリンダーセット又はプッシュプルST錠に同梱されているねじを使用します。

③電動サムターンパッキンをサムターン取付部に取付けます。

ポイント

●電動サムターンパッキンには向きがあります。パッキンのリブとサムターン取付部の切欠きを合わせてください。

④門扉道路側のシリンダーを、家側よりサムターン取付金具を通して【2-1】で取付けます。

ポイント

●取付部品で配線を挟まないように注意してください。挟みますと断線や機器の故障の原因となります。

●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる可能性があります。

※ねじの締付けトルク(推奨)：1.2N・m {12kgf・cm}

⑤電動サムターンに配線を差込んでください。

⑤電動サムターン

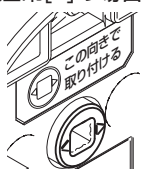
「カチッ」と鳴るまで挿してください。



右吊[R]の場合

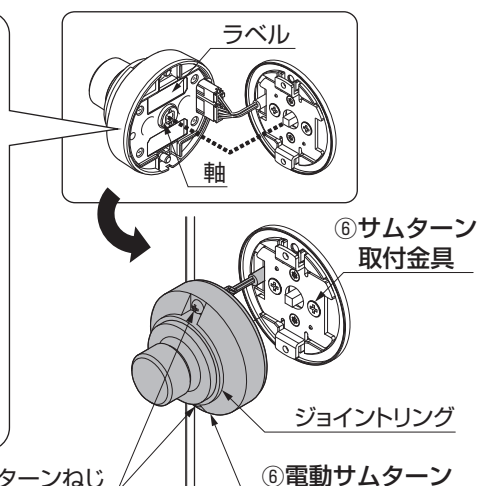


左吊[L]の場合



サムターンの軸をラベルの向きに合わせてください。間違えるとサムターンが回りません。合わせた後はジョイントリングを動かさないでください。軸の向きが連動して変わります。

⑦サムターンねじ



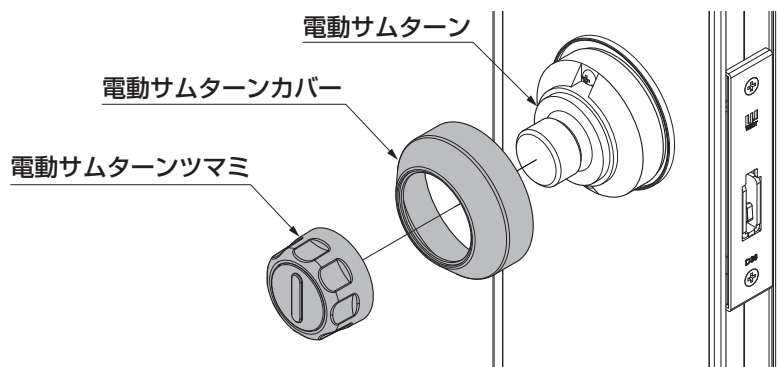
⑥電動サムターンをサムターン取付金具にはめ込みます。

注意

●電動サムターンに向きがあります。向きを間違えると機器が故障や破損する原因となります。

⑦サムターンねじで固定します。

3. 電気錠ユニットの扉への組付け つづき



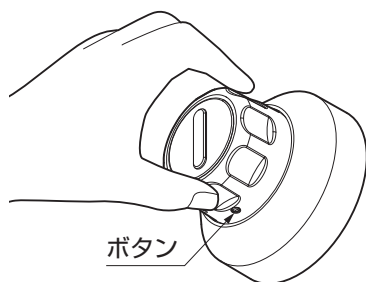
⑧ 電動サムターンカバーをはめてから電動サムターンツマミを付けます。

ポイント

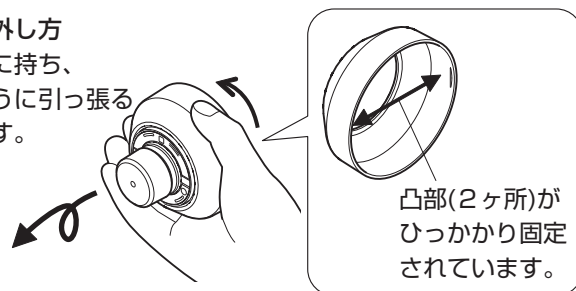
- 電動サムターンツマミに向きがあります。
- 電動サムターンパッキンに電動サムターンカバーが乗り上げないように取付けてください。電動サムターンが正常に動かないことがあります。

■ メンテナンス時の対応

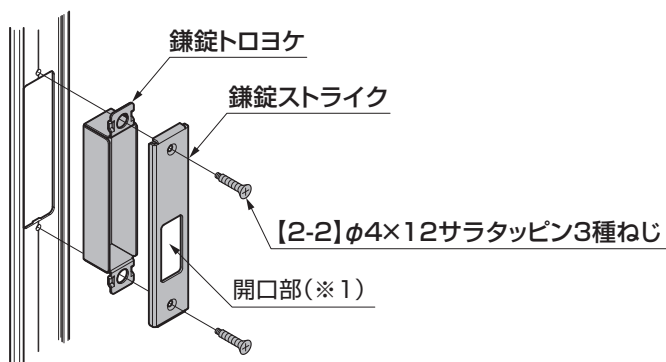
- ツマミの外し方
ボタンをペン先やつまようじなどで押しながらツマミを引っ張ります。



- カバーの外し方
図のように持ち、ひねるように引っ張ると外れます。



3-5 鎌錠ストライクセットの取付け

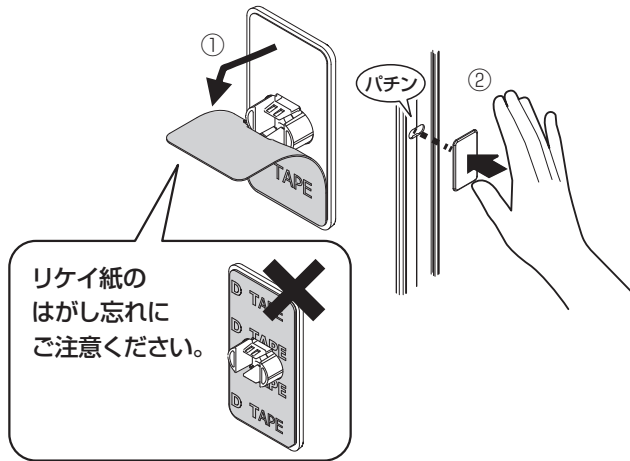


① 親子・両開きの場合は受扉に、片開きの場合は錠受け部材に、鎌錠ストライクの開口部(※1)を下側にして鎌錠ストライクと鎌錠トロヨケを【2-2】で取付けます。

ポイント

- 鎌錠ストライクの開口部(※1)を下側にして組付けてください。

4. マグネットの取付け



①マグネットのリケイ紙をはがします。

ポイント

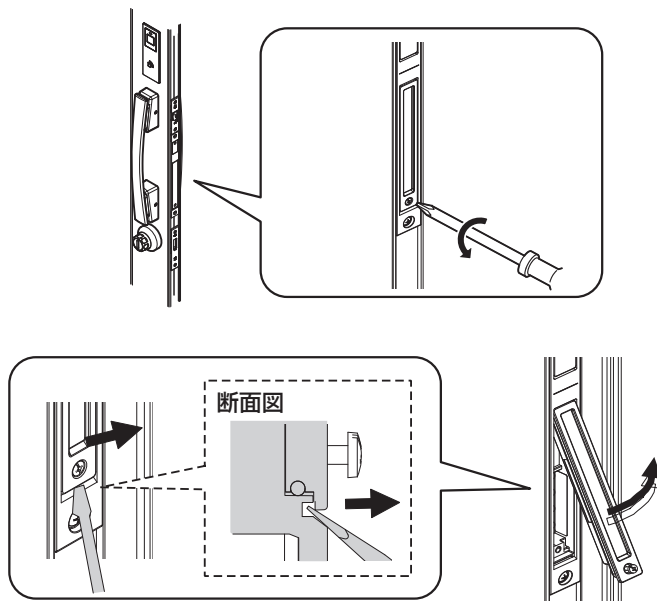
●リケイ紙をはがし忘れないでください。

②マグネットを合掌框または受け門柱に貼り付けます。
マグネットを3秒以上強く押付け圧着させてください。

ポイント

●マグネット貼り付け面が汚れている場合は掃除をしてください。汚れたまま貼り付けると外れることがあります。

5. 電池の挿入



①電池フタのねじを緩めます。

ポイント

●手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

②電池フタを外します。

ポイント

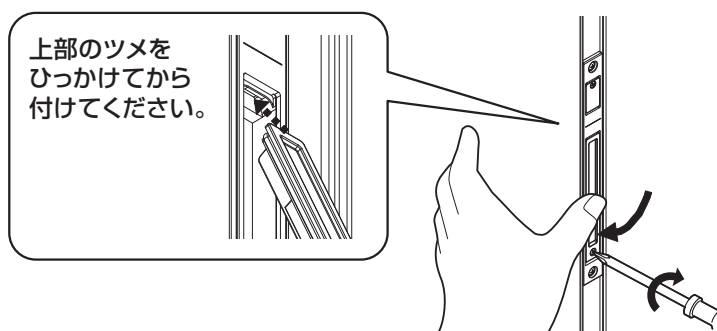
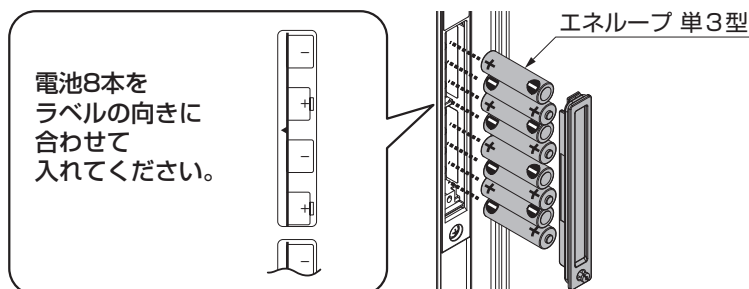
●フタが固い場合は、図のようにマイナスドライバーなどで外してください。

③電池を入れます。

④電池フタを閉め、ねじを締めます。

ポイント

●ねじはフタを押えながら締めてください。
●電池フタを閉めたときに『ピーー音』が鳴る場合は、電池の入れ間違いか、フタが半開きになっています。電池を入れ直してください。
●その他のブザー音が鳴る場合はP.14『異常時のブザー音、リーダーの表示について』をご確認ください。



6. 電気錠の登録および設定

キーの登録、設定方法等はこちらのLIXIL電気錠サポートサイトからもご確認ください。

LIXIL 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>



6-1 カードキーの登録方法

(1) 登録の前に

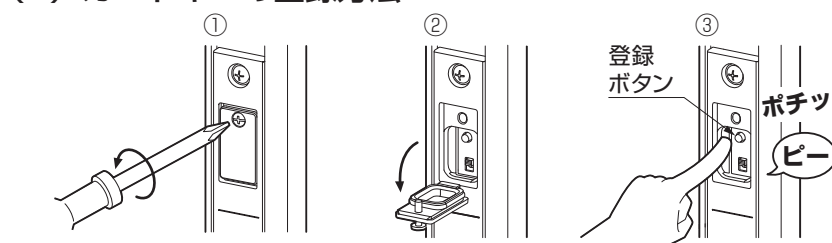
- 登録したいカードキー・タグキー(以下、「タグキー」は省略)をすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)
- ※新たに登録するとすでに登録済みのカードキーのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書をご参照ください。
- ※カードキーの登録だけでは、リモコンやスマートフォンの登録データは消去されません。



ポイント

- 【おサイフケータイの場合】
楽天Edyアプリをインストールしてください。アプリがインストールされていないと登録できません。楽天Edyについての詳細は楽天Edy公式サイトをご確認ください。
<https://edy.rakuten.co.jp/>

(2) カードキーの登録方法



①制御ユニットのフタのねじをゆるめます。

ポイント

- 手回しドライバーをご使用ください。
約10回転回します。

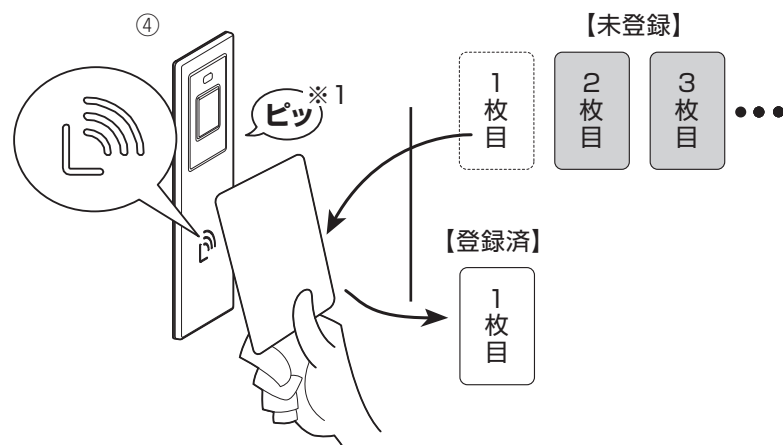
②フタを外します。

③登録ボタンを1秒以上押し、離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

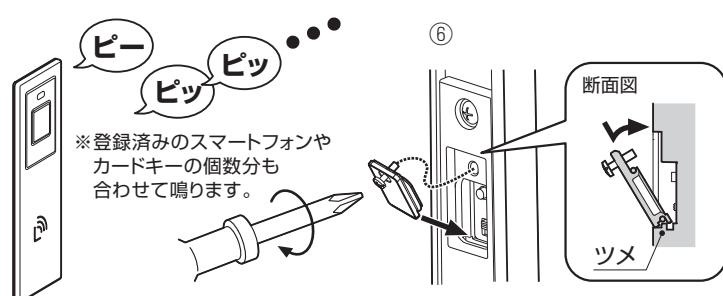
④1枚ずつカードキー「」マークにかざし登録します。

補足

- 登録の都度、登録済み枚数分だけ「ピー音」が鳴ります。(例:1枚目「ピー」、2枚目「ピー、ピー」)(※1)
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録枚数は10枚です。
- 続けてリモコンキーの登録もできます。詳しくは「リモコンキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのカードキーを複数の門扉(無制限)に登録できます。



⑤登録完了音の30秒後(※2)



⑤約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録枚数分「ピー音」が鳴ります。(※2)

⑥フタを元に戻します。

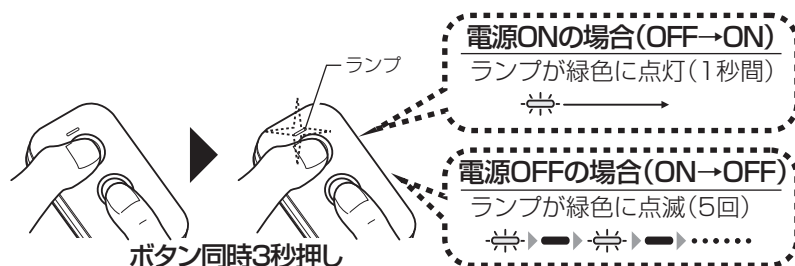
ポイント

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

6-2 リモコンキーの登録方法

(1) リモコンの電源ON/OFFについて

- 2つのボタン同時長押しでリモコンの電源をON/OFF できます。



ポイント

- 電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときは電源をOFFにしてください。
- 電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。

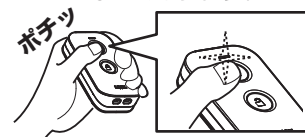
(2) 登録の前に

- 登録したいリモコンをすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)
- ※新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書をご参照ください。
- ※リモコンの登録だけでは、カードキーやスマートフォンの登録データは消去されません。

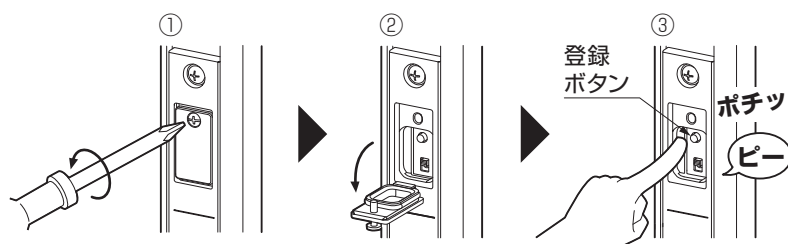


- リモコンのボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。

- ※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



(3) リモコンキーの登録方法



- ①制御ユニットのフタのねじをゆるめます。

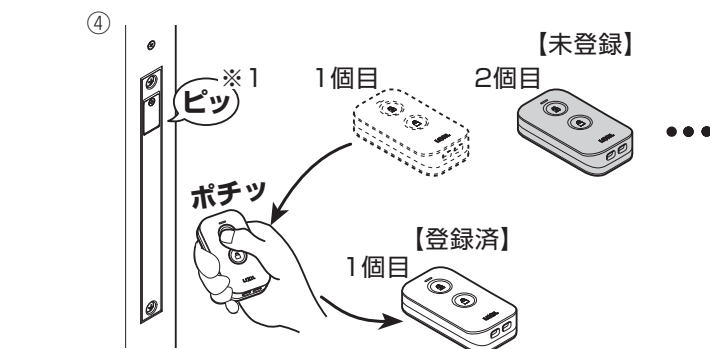
ポイント

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

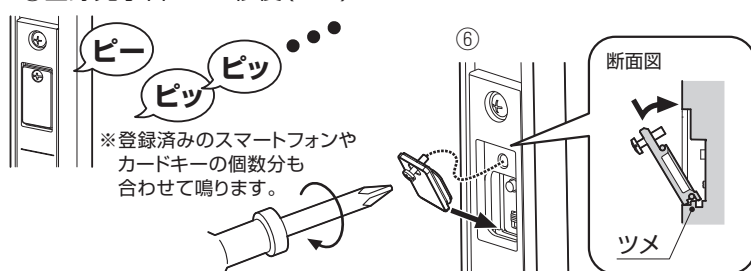
- ②フタを外します。
- ③登録ボタンを1秒以上押し、離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。
- ④1個ずつリモコンキーのボタンを押して登録します。

補足

- 登録の都度、登録済み個数分だけ『ピー音』が鳴ります。(例:1個目『ピー』、2個目『ピー、ピー』)(※1)
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
- 続けてカードキーの登録もできます。詳しくは「カードキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのリモコンに最大10台の門扉を登録できます。11台目の門扉を登録すると、リモコンから1台目の門扉登録情報が自動的に削除されます。



- ⑤登録完了音の30秒後(※2)



ポイント

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

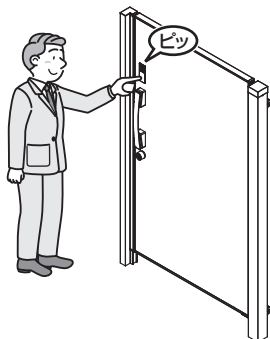
- ⑤約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー音』の後、登録個数分『ピ音』が鳴ります。(※2)
- ⑥フタを元に戻します。

6. 電気錠の登録および設定 つづき

6-3 施解錠の確認

●カードキーの場合

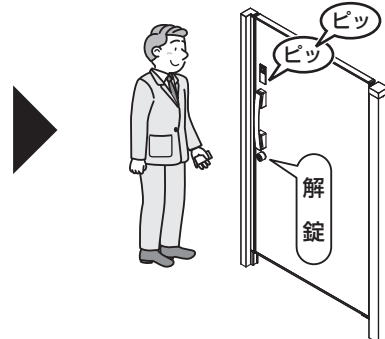
タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざします。



●リモコンキーの場合

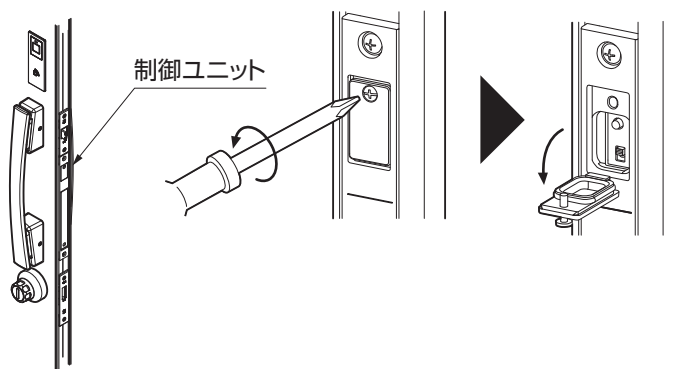


カギが施解錠することを確認します。



※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.14を参考に対処してください。

6-4 自動施錠ON/OFFの切替方法

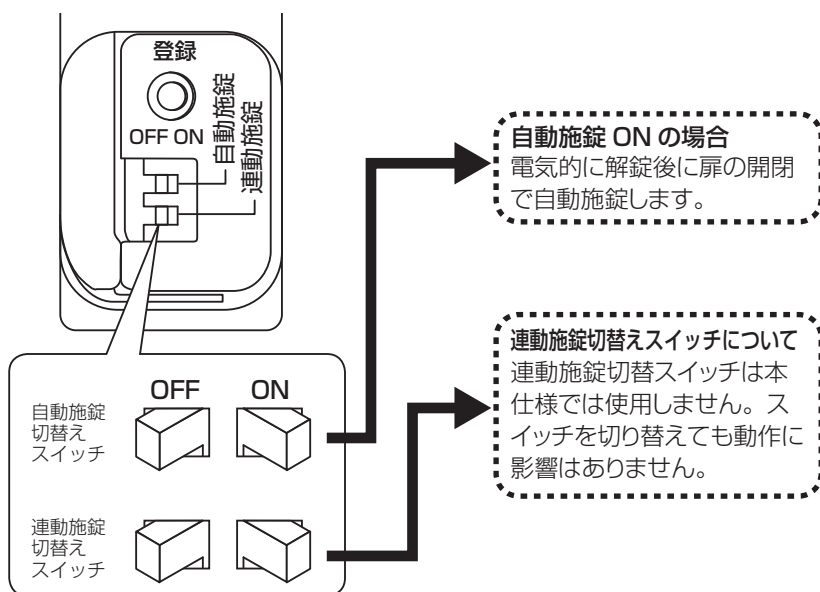


①制御ユニットのフタのねじを緩めます。

お願い

- 手回しドライバーをご使用ください。
約10回転回します。

②フタを外します。



③スイッチを切り替えます。

お願い

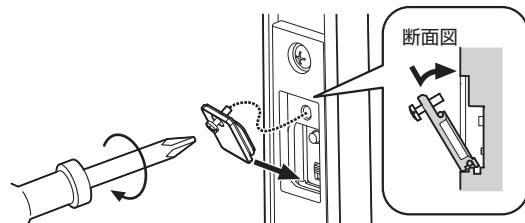
- スイッチを操作しにくい場合は、爪楊枝などを利用して優しく操作してください。
- キーを一度も登録したことがない場合、左記機能はすべて作動しません。

④フタを元に戻します。

お願い

- 下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

※出荷時はどちらもOFFの状態です。



7. 施解錠方法

7-1 シリンダーや手動でのサムターンの施解錠方法

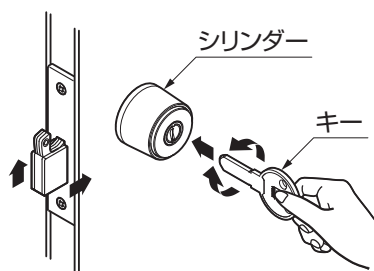


図 7-1 シリンダー

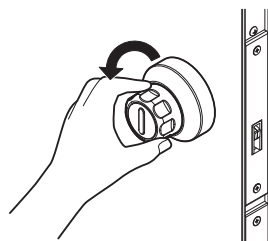


図 7-2 サムターン

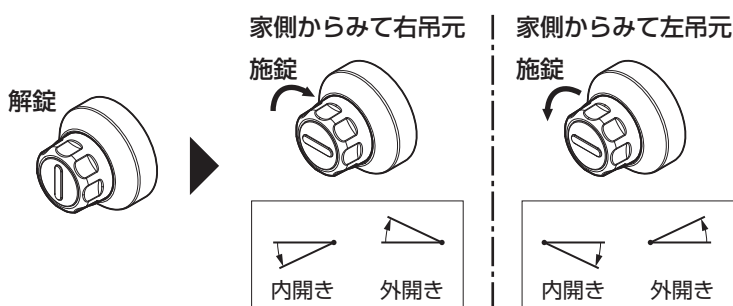


図7-3 サムターンの向きと表示

①シリンダー、サムターンを手で回し施解錠できます。(図7-1、7-2参照)

ポイント

- サムターンにはまわす向きがあります。(図7-3参照)
- 手動操作の場合、自動施錠のON・OFFに関わらず自動施錠しません。しめ忘れないように注意してください。

はじめに

制御
ユニット

屋外
リーダー

電動
サムターン

化粧
プレート

組
付
け
手
順

鍵錠
ストライク
セット

マグネット

電池
挿入

登
録
・
設
定

カードキー
登録

リモコンキー
登録

施解錠の
確認

自動施錠
切替

施
解
錠
方
法

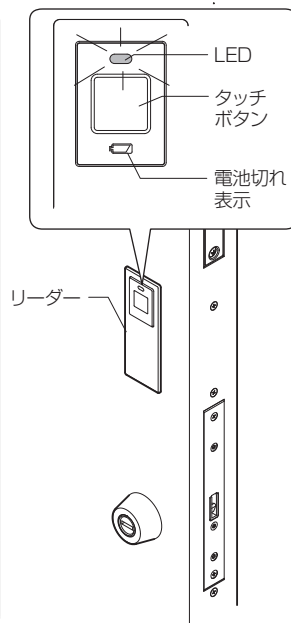
シリンダー・
サムターン

こんなときは

8. 門扉のブザー音と表示について

(1) 正常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅 (5 秒間) ● ● ● ● ●	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅 (5 秒間) ● ● ● ● ●	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅→消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯 (1 秒間) ● →	施錠できました。
ピッピッ ● ●	赤色で点灯 (1 秒間) ● →	解錠できました。
ピー —	緑→赤色で交互に点灯繰り返し ● ● ● ● ●	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯→消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅 (アップデート終了まで) ● ● ● ● ●	ファームウェアアップデート状態へ入りました。(スマートフォンでアップデート操作を行う際の状態を示します)



(2) 異常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ● ● ● ● ●	橙色で点滅 (1.5 秒間) ● ● ● ● ●	門扉が開いた状態で施解錠操作が行われました。	門扉を閉めてください。
ピーピーピーピーピー — — — — —	電池切れ表示が点滅 (5 秒間) ● ● ● ● ●	施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
ピー —	電池切れ表示が点灯 (5 秒間) ● →	電動サムターン作動途中で門扉が開けられました。	手でサムターンを回し解錠にしてから門扉を閉めてください。
ピーピー × 8 ● ● ● ● ● ● ● ●	電池切れ表示が点灯 (60 秒間) ● →	電池容量が少なくなりました。	新しい電池に交換してください。
ピーピー × 4 ● ● ● ● ●	電池切れ表示が点灯 (5 秒間) ● →	電池が切れました。	電池を入れ直してください。
ピーピー × 4 ● ● ● ● ●	電池切れ表示が点灯 (60 秒間) ● →	電池を入れ間違っています。電池フタが半開きです。	→ (P.9)
ピー × 8 ● ● ● ● ● ● ● ●	橙色点滅 (2.5 秒間) ● ● ● ● ●	錠 (デッドボルト) がストライクに接触しています。	門扉が確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のブザー音が鳴る場合は、建付けおよびチリ寸法の調整を行ってください。
ピー × 4 ● ● ● ● ●	橙色で点灯 (5 分間) ● →	制御ユニット、リーダーの故障。もしくは扉内の配線に異常があります。	部品の交換が必要です。
ピー × 4 ● ● ● ● ●		電動サムターンの取付け不備または故障しています。	電動サムターンを門扉から完全に取外し、再度取付けてください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。→ (P.7)
ピー × 8 ● ● ● ● ● ● ● ●		リーダーに一時的なエラーが発生しています。	電源を入れ直して再起動してください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。
ピー × 8 ● ● ● ● ● ● ● ●		制御ユニットに一時的なエラーが発生しています。	
—	橙色で点滅 (5 秒間) ● ● ● ● ●	キーが登録されていません。(出荷時)	キーの登録を行ってください。 カードキー → (P.10) リモコンキー → (P.11)
ピッ ●	緑色で点灯 (1 秒間) ● → (動作なし)	キーが登録されていません。(全末梢後 / 施錠時)	
	赤色で点灯 (1 秒間) ● → (動作なし)	キーが登録されていません。(全末梢後 / 解錠時)	

11. 商品仕様

(1) 制御ユニット

項 目	仕 様
入力電源仕様	DC6V エネループ 単3形 8本(4本の直列接続を2並列で接続)
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz / 13.56MHz
電界強度	85dB μ V/m / 112dB μ V/m(参考値)
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃(電池を除く)
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	

(2) リモコン

項 目	仕 様
入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032 2個
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz
電界強度	85dB μ V/m(参考値)
無線局の種別	2.4GHz帯高度化 小電力データ 通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃

(3) カードキー

項 目	仕 様
使用環境温度範囲	-10~50℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、
総務大臣の許可なしに改造して使用することは
できません。改造すると法律により罰せら
れることがあります。